

平成27年度予算見積調書

課室名：生涯学習文化財課
 担当名：指定文化財保護担当
 内線：6981

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B108	三富地域の文化財普及・啓発事業			一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財管理指導費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	文化財保護法、文化財保護条例			戦略項目	10	みどりと川の再生	
						分野施策	040101	みどりの再生(身近な緑の保全・創出・活用)	
<p>1 事業概要</p> <p>土地の転用が進む「三富開拓地割遺跡」とその周辺地域は貴重な文化遺産であり、地域住民の理解と協力を得て保全・活用していくことが必要である。</p> <p>本事業により、県指定旧跡「三富開拓地割遺跡」を中心とする三富新田地域の歴史的価値と現在の意義、保全の必要性について普及・啓発することにより、地域住民をはじめとする県民が三富新田地域の重要性を改めて認識し、これを保全しながらまちづくりなどに活かしていくことができる。</p> <p>(1) ワークショップ事業費 17千円 (2) 魅力再発見事業費 118千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア ワークショップ事業 地割景観が残されてきた「仕組み」を学ぶ落葉掃き体験等 17千円 イ 魅力再発見事業 専門家の指導により三富の魅力を再発見する見学会・観察会等 118千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ワークショップ事業 伝統的な手法による雑木林の落ち葉掃き体験等を行い、雑木林の役割、農地との関わりなどについて学ぶ。 イ 魅力再発見事業 年度ごとに「歴史」「民俗」「自然」といったテーマを定め、専門家の視点を取り入れて三富の魅力を再発見する見学会、観察会、講座等を実施する。24年度は歴史、25年度は民俗、26年度は自然をテーマに実施した。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>体験落ち葉掃き 平成21年度：137名参加、平成22年度：90名参加、平成25年度：39名 (23年度は放射性物質の影響、24年度は積雪のため中止) 普及啓発印刷物 文化財ウォーキングマップ6,000部×4種類・地割航空写真クリアファイル(23年度)パンフレット「未来に伝えよう埼玉の文化的景観」800部(24・25年度) 魅力探訪バスツアー 平成24年度「多福寺と三富開拓関係文書」3月20日、26名 平成25年度「開拓民の暮らしと三富地域の民俗芸能」9月28日、25名 平成26年度「人の暮らしと雑木林の生きものたち」4月26日、33名</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア ワークショップ事業 三芳町教育委員会との共催により、地元住民の指導のもと、伝統的な手法による落ち葉掃きと循環型農業について学んでいる。 イ 魅力再発見事業 県立博物館等に所属する各分野の専門家を活用するとともに、地元農家や事業者等にも御協力いただいている。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>普通交付税(その他教育費) (区分)その他教育費(細目)社会教育費(細目)社会教育・文化財保護費(積算内容)文化財保護関係補助金等文化財の維持管理経費、旅費、備品購入費</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額		諸収入						一般財源	前年との 対比
決定額	135						135	44	
前年額	179	66					173		